



轟木地区側から見た赤松林道入り口



山崎泰昌議員

まちづくり

復興事業について

町独自の対策にも取り組む

**質問** 町内のインフラ整備が進んでいないことへの対応策は。

**佐藤町長** 被災したり、改善をしなければならぬ道路については、復興事業、災害復旧事業により、優先すべき箇所から行う。

また、仮設住宅の設置や復旧作業に伴う交通量の増加による傷み等には、パトロールを強化し、速やかに対応する。防犯灯設置については、東北電力等の協力を得ながら整備していく。

**質問** 赤松林道、山田高校から礼堂間の道路、豊間根から内野經由関口線は、生活道路としての必要性が増している。それらの整備は、町中央部への移動手段としての利便性向上、緊急時における交通網の確保等、住民福祉に直結する事業と考える。

予算的にも町独自に使える基金が約30億円あるが、それを使って整備してはご

うか。

**阿部建設課長** 細浦柳沢線の着工のめどがついたので、林道整備はまだ考えていない。

礼堂線は以前に整備計画があつたので、その方向性で進むが、豊間根関口線は考えていない。

**上林企画財政課長** 基金はあるが、財政状況や今後の見通しを考えると、町の精細な計画を立てるところまでいった時点で考える事案であると認識している。

**質問** 小学校の統合は震災前より議会の中で議論されていた。町民の居住区の変化、高台への住宅造成、県立山田病院の早期着工、山田消防署の新設などの緊急の課題がある。

織笠小学校と轟木小学校、山田北小学校と山田南小学校を統合して、織笠小学校と山田北小学校の跡地を確保し、集合住宅や一戸建て住居、県立山田病院や

山田消防署など、早期着工が望まれる事業を解決するという考えはないか。子供たちのスポーツ活動や、互いに切磋琢磨しあつて成長するためによいことだと考えるが。

**佐藤町長** 現段階では小学校統合は考えていないので、跡地利用も検討していない。住宅、団地は現在、

地区ごとに場所やかさ上げを提案し、住民合意を図っている作業中なので、それを尊重したい。

県立山田病院、山田消防署は、住民の生命、財産を守る拠点施設である。安全性、利便性等、さまざまな角度から候補地を検討している最中なので、現時点では回答できない。

そのほかの質問

- ◆ 新しい町づくりへの町長の考えについて
- ◆ 未完成の補助事業について
- ◆ 土地の買い取りなどについて
- ◆ 自力での住宅再建について
- ◆ 三陸沿岸道路について
- ◆ 水産業の後継者問題について
- ◆ 海水浴場の整備について
- ◆ 学校給食事業について
- ◆ 太陽光発電支援について